

モーターヘッド

MOTORHEAD

San-ei shobo
980 JPY

WINTER 2013

06

PORSCHE
MUSEUM
SPECIAL MOVIE

web

限定配信中!

特集：クルマで興奮してますか？

deep *Freest*

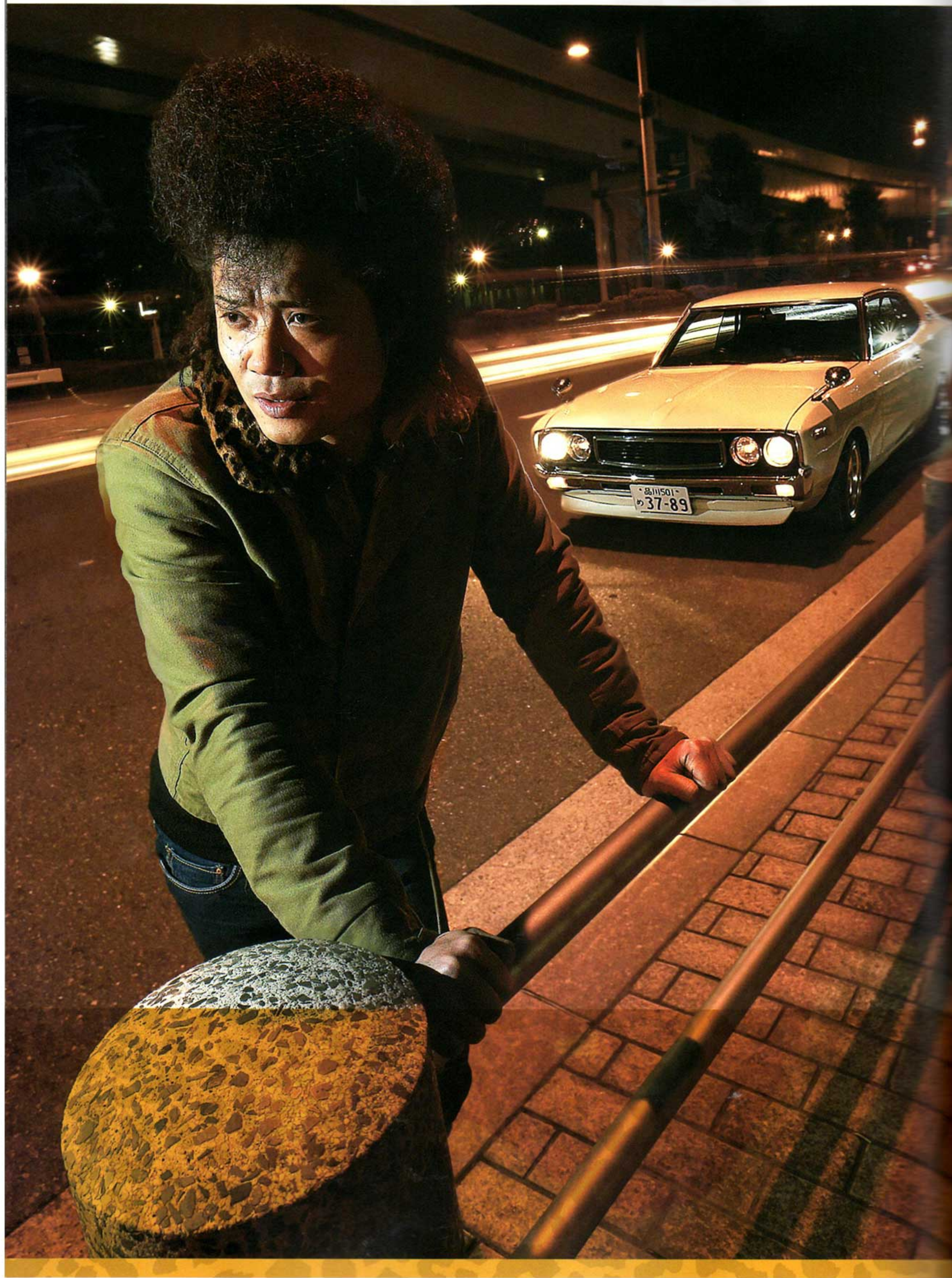
LB WORKS "Boso Lambo"
Bamford Collection
Most Fastest in the World FORD GT
TRA Kyoto Interview
IDING POWER M3-SIII / V2
...and so on

The SPEED of RED BULL
レッドブル・スピード天国

SEMA SHOW 2012
セマで見た明日のカスタム

FAB DESIGN Special
究極のチューナーを現地取材





夜 も深まるお台場に響き渡る異質なエンジン音、明らかに現代のクルマと違うその咆哮とともに目の前に現れたのは、真っ白なローレル。鉄製の鈍重なドアが開き、中から出てきたどデカイリーゼントに緋い眉、どこからどう見てもパッドボーイズの佐田正樹だ。

佐田といえば小学校時代のいじめられっ子から一転、中学3年で学校の番長になり、高校2年で福岡県最大の暴走族400人のトップ立つなど、その腕っ節ひとつで成り上がった男として巷でも有名だが、そんな彼の現在の愛車がこのローレルとは、なんともどんズバな組み合わせである。「似合うでしょ？ 俺クルマも洋服も一緒だと思ってるんで、こういう人前に立つ仕事をしている以上は、自分のイメージに合った、恥ずかしくないクルマに乗るべきだと思うんですよ。信号待ちで隣に並んだクルマの運転手に見られた時に、佐田やけど、『うわ、やっぱり！』みたいな(笑)』

とはいえ、このローレルは76年式。彼ど真ん中な世代ではもちろんないはずだが、「俺基本旧車が好きだから、バイクも旧車だったし、それでクルマもやっぱり旧車いいなと。今っぽいクルマも気にはなりますけどそれはいつでも乗れるじゃないですか。俺もう34歳なんで、このへんで旧車に乗るとかんと、たぶんもう一生乗ることないやろなと思って」

ひと口に旧車といえど選択肢は多数ある。その中でこのクルマを選んだ理由は何だったのだろう。「実際ケンメリも選択肢にありましたね。でも、やっぱりローレルだった。



その独特なリヤスタイリングから、通称“ブタケツ”と呼ばれる、ローレルKHC130(76年式)が佐田サンのお愛車。エンジンはL20E型から、94年式のRB20型(ターボ)に換装している。佐田サンによれば、「乗り心地は正直悪いですよ。ボク運転するとスイッチが入っちゃってるみたいで、嫁はいつも酔ってます(笑)」と、助手席の人には決して優しくはないようだが、エアコンパワステを完備するなど街の快適性は十分確保されている。また、写真にはないのが残念だが、シートはノーマルのまま使用されており、佐田サンお気に入りのポイントでもある。

しかもある時ふと“ブタケツ”ローレルを思い出して、『うわ！そうや！』ってネットで探しまくりましたよ。何台か出てくるんですけど、『エンジンが動かない』とかそういうのばっかで。やっぱり旧車ってそういうところあるんだなとガッカリしてたら、レイザーラモンRGが『そんな店あんで』とか言い出して、『ロッキーオート……じゃなかったかな？』って。それで即問い合わせ、

トントン拍子になって感じですね」

そう、このローレル実はMHでもおなじみの旧車マイスター・渡辺氏が代表を務めるRocky Auto(ロッキーオート)が手掛けた一台で、RBエンジン換装、エアコン・パワステ装備の快適仕様なのだ。「ほとんど一目惚れでした。気に入った洋服を買うように、すぐにコレだと決めました。だから内装とかほとんど見てなかったんで、やっぱりちよいちょいダメージとかあったりして、でもそれを手直ししていくのも旧車の楽しみだと思ってます。ちなみに、他の芸人さんも古いのに乗ってる人が増えてきてるんですよ。ジュニアさんがセドリックに乗ってて、で、最近だと野性爆弾の川島さんがプレゼントを買ったし、ケンコバさんもクジラクラウン買ったとか聞きますし、やっぱり皆さんそれぞれのスタイルを持っているんでしょうね。でも、俺だって負けてませんよ(笑)。見て下さいよ後ろからのこの角度、ブタケツいいでしょ〜、この白いボディカラーってのも“上品な不良”って感じがしてたまないんですよ。あっ写メしていいですか？ でねでね、この一円玉ホイールってのがまた……」

この後も佐田はとくとくとその魅力を説明してくれた。見た目には似合わず!? 自分のクルマの話をしている時のキラキラした真っ直ぐな眼差し。きっと彼はやんちゃをしていた十数年前も同じ目をしてバイクの話をしていただろう。よく“永遠の少年”という表現を耳にするが、この言葉は彼にこそ相応しい気がした。『



芸人さんは

Style04
Kyu sya
×Bad Boys

旧車がお好き。 **Rocky Auto Laurel (RB20)** **× Masaki Sata (Bad Boys)**

クルマはファッションだとキッパリと言いきるパッドボーイズ・佐田正樹。人前に立つ芸人として自分のイメージに合ったクルマにしか乗らないという彼が選んだクルマがローレルだ。そこには己のスタイルを貫く確固たる信念がある。

Text: 須藤義一 Yoshikazu Sudo
Photo: 柏田芳敏 Yoshitaka Kashiwada

PROFILE

さた・まさき 78年福岡県生まれ。お笑いコンビ「パッドボーイズ」のツッコミ担当。97年に現在の相方である清人とコンビを結成し福岡吉本で活動を開始。02年には東京本社に拠点を移す。自身の著書「デメキン」(09年発売・ワニブックス)では、幼い頃にイジめに合っていたことや高2で福岡県最大、400人の暴走族のトップになったこと、暴走族引退後に、孤独の中でお笑い芸人になると決意したことなど、その壮絶な過去を赤裸々に明かしている。